

目次 Contents

- 2 目次・すその人
- 3 特集 選ばれる自治体に向けた市役所改革
- 4 特集 令和3年度裾野市の財政状況
- 6 ゼロカーボンシティ宣言
- 8 地域の身近なスポーツ指導者を紹介
- 9 新型コロナウイルスワクチン4回目接種
令和4年度介護保険料
- 10 後期高齢者医療制度の保険証更新
- 11 国民健康保険被保険者証の更新
令和4年度国民健康保険税
- 12 やってみよう。市民活動
- 13 すそのんラジオ体操カードを配布
低所得の子育て世帯生活支援特別給付金
- 14 裾野駅西地区の整備を進めています
不発弾事故を防ぐために
- 15 インフォメーション
- 19 図書館だより
- 20 フォトグラフ
- 22 救急協力医
- 24 裾野っ子
すこやかタウン

表紙 Front cover



おしゃべりにコーヒーはいかが

ふれあい塾本村下の遊友会では、おそろいのエプロンをした男性が女性をおもてなしします。手慣れた手つきでコーヒーを出す様子は、まるで喫茶店のよう。遊友会は、毎月第1・3月曜日に本村下区公民館で開催しています。お気軽にどうぞ。



3年ぶりにDREAM-CUPを開催する 静岡ドリームス代表

西村 慎一さん (50歳)

身体障がい者野球大会DREAM-CUPは、今年7月30日(土)、31日(日)に3年ぶりの開催を予定しています。「感染防止対策を実施し、やれる範囲でやりたい。例年、全国から多数のチームが参加しますが、今回は規模を縮小して開催します」と裾野市を拠点として活動する身体障がい者野球チーム静岡ドリームス代表の西村さんは話します。



西村さんは、東京2020パラリンピック競技大会の聖火ランナーを務めました。三島市在住で、市内企業に勤務しています。ゆかりのある裾野市の代表として、全国で唯一公道開催された御前崎市～菊川市間を走りました。パラリンピックの開催により、パラスポーツへの関心が高まりましたが、せっかく盛り上がった熱が冷めてしまうのではと心配しています。

パラリンピックで、パラスポーツのポッチャが有名になりました。パラスポーツというと特別な競技と考えがちですが、そうではないと西村さんは言います。

「障がい者野球は、バント禁止、盗塁禁止、打者代走制度というルールがありますが、そのほかは健全者の野球と同じです。ちょっとした工夫をすれば、障がいがあってもなくても一緒に楽しむことができます。DREAM-CUPを通じて障がい者野球を知ってもらうだけでなく、パラスポーツを通して共生社会を考える人が増えてくれることを期待しています」と話していました。



susonobito No.40